

スーパーエコスクール実証事業

～ 環境を考慮した学校施設の整備推進 ～

○ 背景

- 建築後25年を経過し、エネルギー効率の低い、老朽化した学校施設が約7割
- 地球温暖化対策として、温室効果ガスの削減が重要
- 公立学校施設の面積は、公共施設全体の約4割を占める
- 改正省エネ法に基づき、原則、教育委員会は省エネ計画の策定が必要
- 東日本大震災による電力需給対策

対策



効果

□ 環境教育への活用や地域への発信拠点に (実施例)



窓・壁の断熱化の効果の体感
(少しの暖房で暖かい)

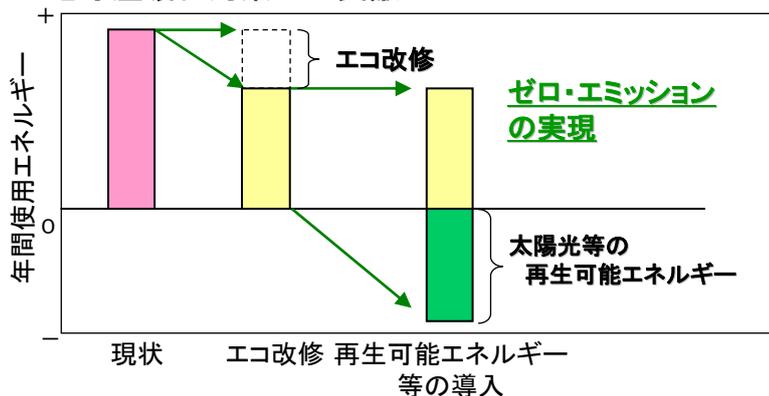


体感したことを生活に活かす
(黒塗りペットボトルによるソーラー給湯器を自作し、これにより暖めたお湯を用いて掃除)



地元企業・NPOによる児童・地域住民向けの環境教育を実施

□ 地球温暖化対策への貢献



○ スーパーエコスクール実証事業 3か年事業の初年度

予算(案)額：15,336千円

基本計画の策定



【事業内容】

全国3地域程度の自治体において、学校設置者、学校関係者、地域住民、設計者等を交え、エコ改修の内容に関するワークショップの実施

※ 3月上旬を目処に公募を行う予定

3か年事業の2年目

基本設計・実施設計の実施



【事業内容】

初年度に実施したワークショップの結果を踏まえ、エコ改修工事の基本設計と実施設計を実施

※ 設計費は工事費に算入

3か年事業の最終年度

エコ改修事業の実施



【事業内容】

実施設計に基づき、エコ改修事業の実施

補助率 (H24' 時点)
(太陽光、風力、太陽熱の導入による)
エコ改修 1/2
(上記以外) 1/3

事業費：実工事費